

# 事業報告書

平成27年度  
自 平成27年4月 1日  
至 平成28年3月31日



公益社団法人全国子ども会連合会  
東京都文京区大塚 6-1-14 全国子ども会連合会ビル



## ■事業統括

平成27年8月に法人設立50周年を迎えました。昭和40年（1965年）8月に社団法人として認可されてから半世紀になります。設立から今日まで、多くの方が「子ども会活動を通じて民主的で文化的な日本の建設に資し」「世界の平和と人類の福祉に貢献すること」に尽力されてこられました。子ども会活動を各方面から支えていただきました皆々様に敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

平成27年10月には法人設立50周年記念式典を群馬県伊香保温泉で開催いたしました。50年の歴史を振り返るとともに、これからの子ども会活動の発展を誓い合い新たなスタートの年といたしました。

少子高齢化・情報化社会の進展・グローバル化の進展は、過去に経験していない社会環境の変化であり久しく言われ続けている課題です。社会におけるコミュニケーションのあり方の変化、経済や文化のあり方の変化、教育や福祉のあり方の変化等を認識する中で柔軟な対応が求められています。

子ども会の良き伝統と大きな社会的変革への対応を念頭に置き進めてきた27年度の事業について、総括的に報告する。

### 1. 連合会事業

- (1) ジュニア・リーダーを育てる組織として、また将来の子ども会を背負って立つ組織として、シニア・リーダー研修会を東京で開催した。  
今後も引き続き、シニア・リーダーとジュニア・リーダーのネットワーク創りを目指し、子ども会活動の活性化を図ることとした。
- (2) ジュニア・リーダーについては、中学生・高校生年齢相当を対象として研修、情報交換等を行うことにより、その資質向上を図ることを目的に地区ごとの開催を基本として研修大会を開き、必要経費の一部を負担した。  
全国ジュニア・リーダー研修大会については、引き続き検討課題とした。
- (3) 第49回全国子ども会育成中央会議・研究大会は、平成27年10月17日～18日に関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会が担当地区になり群馬県が担当県として開催された。  
「法人設立50周年記念式典」事業として開催した。
- (4) 地区子ども会育成研究協議会については、指導者、育成者の子ども会発展のための情報交換、協議の場としてシンポジウム、分科会を開催した。子ども会活動の振興に資する研究協議会であり、必要経費の一部を負担した。

- (5) 子ども会KYT（危険予知トレーニング）指導者養成講習会  
指導者資格認定制度が進められ、初級指導者養成講習会が都道府県・指定都市子連の指導者により飛躍的に開催されるようになった。  
中級指導者養成講習会も各地区で開催されるようになり、中級講習会の受講者も飛躍的に増加した。
- (6) 日本体育大学の先生を中心にした専門家と連携し、スポーツでの怪我防止対策マニュアルを作成し、平成27年6月から斡旋した。同時に、マニュアルの指導本の作成を進めた。平成28年5月に完成の予定です。
- (7) 安全共済会の加入者については、3,789,770人で昨年比約10万人の減少となった。
- (8) 健全な共済事業の運営を行うため、全子連は役職員、また県・市子連に対しても、PTA・青少年教育団体共済法及び施行規則、監督指針で求められているリスク管理や、審査基準、マニュアルについての研修を随時行ない、健全な共済事業の運営に努めた。

## 2. 監査の指摘を受けて

平成27年4月29日、監事の所見に基づき、以下の改善を図った。

- (1) 財政面について
- ① 財務の健全化を図るため、諸会議の開催及び日常業務の合理化を進めた。  
管理面において、預金口座数の整理を進めた。
  - ② 共済加入者数の会員間の格差が顕著であることに対しては、加入率の高い県の取り組みを記念式典にて発表いただき、各都道府県・指定都市子連での会員増強への共通認識を図った。
  - ③ 共済事業については、スポーツ活動中の事故対策として、専門家による事故防止マニュアルを作成し、スポーツ事故防止により共済金支払の減少を図る。
- (2) 組織について
- 公益法人の運営のため、内部管理体制を一層強化し公益性の業務を遂行できるよう組織作りに努めた。

## ■組織の状況

### I 組織の状況

#### 1 平成27年度の会員状況

正会員：59（46都道府県＋13政令指定都市）

#### 2 役員に関する事項

##### (1) 当該年度末時点で在籍している役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任年月日	任期満了	重要な兼職の状況
丸山 康昭 (熊本県)	会長		平成26年 5月28日	※	
磯田 謙一 (島根県)	副会長	共済事業 安全会	平成26年 5月28日	※	
河本 功 (静岡県)	副会長	総務財務	平成26年 5月28日	※	
野瀬 武敬 (名古屋市)	副会長	事業	平成26年 5月28日	※	
佐々木 正市 (秋田県)	理事		平成26年 5月28日	※	
中川 輝夫 (茨城県)	理事		平成26年 5月28日	※	
大鹿 良夫 (埼玉県)	理事		平成26年 5月28日	※	
小林 幸男 (岐阜県)	理事		平成26年 5月28日	※	
安部 侃 (滋賀県)	理事		平成26年 7月23日	※	
池田 龍男 (福岡県)	理事		平成26年 5月28日	※	
中山 良明 (大阪市)	理事		平成26年 5月28日	※	
樋口 修資 (学識経験)	理事		平成26年 5月28日	※	
新田 新一郎 (学識経験)	理事		平成26年 5月28日	※	
成田 國英 (学識経験)	常務理事		平成26年 5月28日	※	
後藤 守吉 (群馬県)	監事		平成26年 5月28日	※	
中山 ひろみ (大阪府)	監事		平成26年 5月28日	※	

※任期満了は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時。

(2) 平成27年度中に退任した役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任年月日	退任の理由
荒井 公夫 (富山県)	理事		平成26年5月28日 ～平成27年6月6日	県代表者辞任のため

## II 都道府県・指定都市子連の状況

### 1 代表者の交代による新規会員

県・市	新代表者	旧代表者	異動年月日	備考
北海道	朝日 照夫	(町村 信孝)	平成27年3月21日	
仙台市	千葉 貴和子	河村 次男	平成27年5月20日	
鳥取県	美田 耕一郎	藤縄 喜和	平成27年4月12日	
北九州市	三好 孝	福島 司	平成27年4月21日	
熊本市	山本 一郎	大西 一史	平成27年6月7日	
大分県	小手川 和彦	後藤 泰範	平成27年5月17日	
広島県	岡本 康成	末留 勇	平成27年6月13日	
高知県	杉村 高晴	西内 昭男	平成27年6月21日	
富山県	稲垣 晴彦	荒井 公夫	平成27年6月6日	
三重県	小野 欽市	川合 滋	平成27年9月19日	

### 2 会員都道府県・指定都市子ども会連合組織

別紙1 参照

## ■事業報告

### I 公1事業（連合会事業）

#### A 子ども会活動の指導及び育成事業

##### 1) シニア・リーダー研修会

平成27年度全国子ども会シニア・リーダー研修会

ア) 日程：平成27年12月19日～20日

イ) 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

ウ) 参加者：55名 オブザーバー2名 講師2名 全子連スタッフ8名

エ) 参加費：5,000円

オ) 実施した主な内容

1日目 開会式・基調講義・ワークショップ

全国子ども会連合会 副会長 河本 功 氏

聖徳大学准教授 神谷 明宏 氏

情報交換会

2日目 グループ討議・ワークショップ

全国子ども会連合会 理事 新田 新一郎 氏

全体会

閉会式

##### 2) 地区子ども会ジュニア・リーダー研修大会

ア) 目的：研修、情報交換等を行うことにより、資質の向上を図る。

イ) 内容：青少年の自立支援を組み入れ、地域活動への参画を促す。

ウ) 助成金額：平成27年6月30日付けの共済加入人数×1,500円を限度に運営費として全子連が実費を負担した。

地区	担当県	開催月日	会場	参加者数
(北海道)	北海道	27.8.6～9	国立大雪青少年交流の家	39名
東北	山形県	27.8.7～9	山形県立朝日少年自然の家	73名
関東甲信越静	静岡県	27.9.20～22	朝霧野外活動センター	89名
(東京都)	東京都	27.8.5～10	三宅村活動火山対策避難施設	13名
東海北陸	岐阜県	27.8.8～10	乗鞍青少年交流の家	102名
近畿地区	平成27年度は開催しない			
中国・四国	鳥取県	27.8.21～23	大山青年の家	106名

九州	宮崎県	27. 8. 21～23	青島青少年自然の家	191名
指定都市	平成27年度は開催しない			
合計				613名

### 3) 全国子ども会連合会表彰

- ・7月 子ども会、ジュニア・リーダー組織の表彰
- ・10月 指導者、育成者、指導者組織・育成組織、奨励賞の表彰  
(50周年記念式典の情報交換会と一緒にお祝いの会を行い、情報交換会費を全子連が負担した)

表彰区分	団体数・個人数
単位子ども会組織（団体）	22団体
ジュニア・リーダー組織（団体）	6団体
指導者、育成者（個人）	103名
指導者組織及び育成組織（団体）	10団体
奨励賞（団体）	9団体

## B 指導者及び育成者相互の連携事業

### 1) 法人設立50周年記念式典（第49回全国子ども会育成中央会議・研究大会）

ア) 日程：平成27年10月17日（土）～18日（日）

イ) 会場：群馬県渋川市伊香保温泉 ホテル小暮

ウ) 参加者：628名

エ) 参加費：0円（情報交換会費、宿泊旅費は参加者負担）

オ) 事業内容：

<1日目（17日）>

- ・開会式（創立50周年記念式典）
- ・設立50周年基調講演 『地域教育力の再生』  
講演者 白梅大学学長・東京大学名誉教授 汐見 稔幸 氏
- ・表彰式
- ・『子ども会と人生を語る』  
一般財団法人長崎県子ども会育成連合会 会長 中島 公彦 氏
- ・50周年後の全国子ども会連合会について



- 公益社団法人全国子ども会連合会 会長 丸山 康昭 氏
  - ・ 「子ども会の会員増強に向けて」
    - 石川県子ども会連合会 会長 正木 明 氏
    - 公益社団法人群馬県子ども会育成連合会 副会長 桜井 直紀 氏
    - 一般社団法人岐阜県子ども会育成連合会 会長 小林 幸男 氏
    - 一般社団法人茨城県子ども会育成連合会 会長 中川 輝夫 氏
  - ・ 受賞者を囲む会・情報交換会  
 < 2日目 (18日) >
  - ・ 全体会 「群馬県子連の取組発表」
    - 郷土芸能発表 『子ども八木節』
      - 桐生市川内地区子育連 出演者 子ども25名
    - 大学とのコラボレーション
      - 公益社団法人群馬県子ども会育成連合会 会長 後藤 守吉 氏
      - 高崎市立吉井中学校教諭 岡部 隼人 氏
      - 群馬大学教育学部4年生 高橋 英里 氏
    - 上毛かるたの取り組み
      - 公益社団法人群馬県子ども会育成連合会 会長 後藤 守吉 氏
  - ・ 閉会式
  - ・ 視察研修 「富岡製糸場」・「水沢うどん」・「こんにやくパーク」
  - ・ 合同部会 (関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会開催の合同部会)
    - 第1部会 上毛かるたの発展の歴史と体験講習
    - 第2部会 子ども会「5分間KYT」をどう広めるか
    - 第3部会 子ども会安全共済加入者増にどう取り組むか
    - 第4部会 連合組織としての都道府県・市町村(地区を含む)の連合育成会と単位育成会のパイプをどう太くするのか
    - 第5部会 子ども会活動とは何か・・・原点にもどろう(ワールドカフェ)

## 2) 地区子ども会育成研究協議会

- ア) 日 程：地区会長会議において内容を検討し、指導者、育成者の子ども会発展のための情報交換、協議の場として子ども会活動の振興に資する。
- イ) 内 容：開会式、表彰式、記念講演、情報交換会、分科会、全大会、閉会式等
- ウ) 助 成 金：平成27年6月30日付けの共済会加入人数×4円を限度に運営費として実費を全子連が負担した。

地区	担当県	開催月日	会場	参加者数
(北海道)	北海道	27.10.3~4	士別市民文化センター	79名

東 北	青森県	27. 11. 7～8	プラザアーバンホテル	2 4 7名
関東甲信越静	群馬県	27. 10. 18～19	ホテル小暮	4 0 9名
( 東京都 )	東京都	27. 11. 15	江東区総合区民センター	1 3 2名
東海・北陸	富山県	27. 10. 31～11. 1	富山市総合福祉会館	1 1 7名
近 畿	大阪府	27. 12. 5～6	KKRホテル大阪	2 0 0名
中国・四国	岡山市	27. 11. 14～15	岡山ロイヤルホテル	3 5 1名
九 州	鹿児島県	27. 11. 21～22	霧島市民会館	4 2 0名
指定都市	札幌市	27. 11. 7～8	京王プラザ札幌	2 6 0名

## C 講習認定登録事業

### 1) ジュニア・リーダー講習認定事業

初級		中級		上級	
東京都	5名	千葉県	53名	札幌市	32名
川崎市	6名	東京都	5名	青森県	3名
愛知県	16名	愛知県	4名	埼玉県	20名
高知県	2名	宮崎県	1名	千葉県	24名
北九州市	2名	北九州市	2名	宮崎県	1名
沖縄県	13名	沖縄県	40名	北九州市	2名
				沖縄県	11名
合 計	44名	合 計	105名	合 計	93名

### 2) 子ども会KYT初級・中級指導者認定事業

	初級	中級		初級	中級
北海道	0名	0名	滋賀県	22名	0名
札幌市	0名	0名	大阪府	15名	0名
青森県	76名	2名	兵庫県	9名	0名
岩手県	21名	2名	奈良県	7名	0名
宮城県	41名	6名	和歌山県	6名	0名
仙台市	0名	0名	大阪市	0名	0名
秋田県	5名	3名	神戸市	10名	0名
山形県	20名	2名	鳥取県	0名	0名
福島県	16名	1名	島根県	17名	0名
茨城県	66名	11名	岡山県	16名	0名

栃木県	33名	7名	岡山市	6名	0名
群馬県	108名	0名	広島県	67名	5名
埼玉県	0名	1名	広島市	0名	0名
千葉県	13名	1名	山口県	0名	0名
東京都	0名	7名	徳島県	0名	0名
神奈川県	45名	11名	香川県	16名	0名
横浜市	0名	0名	高知県	3名	1名
川崎市	14名	0名	愛媛県	6名	0名
相模原市	0名	0名	福岡県	40名	6名
新潟県	32名	4名	北九州市	0名	5名
山梨県	0名	0名	福岡市	0名	0名
長野県	3名	2名	佐賀県	22名	4名
静岡県	65名	0名	長崎県	32名	5名
富山県	42名	8名	熊本県	8名	3名
石川県	4名	0名	熊本市	0名	1名
福井県	35名	6名	大分県	25名	0名
岐阜県	105名	0名	宮崎県	0名	1名
愛知県	0名	1名	鹿児島県	179名	6名
三重県	16名	0名	沖縄県	0名	2名
名古屋市	0名	2名	合計	1,260名	116名

## D 安全普及啓発活動

- ・子ども会KYT指導者養成講習会を本格的に全国で展開し、指導者養成を推進することで安全教育を進めた。
- ・「防災」「交通安全」「スポーツ競技の練習や大会での事故防止」に重点を置き、事故減少に向け県・子市子連、単位子ども会の安全教育の充実を進めた。
- ・スポーツ活動中の事故対策として、専門家による事故防止マニュアルを作成し、普及に努めた。28年度完成に向け、マニュアルの指導本を作成した。

### 1) 子ども会KYT初級指導者養成講習会

地区	開催県・市	開催期日	参加者数
北海道・東北	青森県	6月28日	9名
		2月14日	19名
北海道・東北	岩手県	12月5日	20名
北海道・東北	宮城県	11月15日	11名
北海道・東北	秋田県	6月28日	5名
北海道・東北	山形県	6月21日	18名
北海道・東北	福島県	3月12日	17名
関東甲信越静	茨城県	6月6日	12名
関東甲信越静	栃木県	6月14日	38名
関東甲信越静	群馬県	5月10日	64名

関東甲信越静	埼玉県	5月31日	31名
関東甲信越静	千葉県	6月21日	18名
関東甲信越静	東京都	6月7日	20名
関東甲信越静	神奈川県	6月7日	25名
関東甲信越静	新潟県	7月12日	16名
関東甲信越静	山梨県	6月13日	27名
関東甲信越静	長野県	6月27日	35名
関東甲信越静	静岡県	7月5日	15名
東海北陸	福井県	6月28日	24名
東海北陸	岐阜県	1月17日	72名
近畿	滋賀県	6月28日	27名
近畿	兵庫県	6月20日	55名
中国・四国	広島県	8月8日・9日	67名
中国・四国	香川県	9月13日	21名
中国・四国	高知県	6月14日	3名
		9月6日	2名
		12月6日	3名
九州	福岡県	6月27日	17名
九州	佐賀県	6月7日	16名
九州	長崎県	6月20日	11名
九州	熊本県	7月18日	21名
九州	鹿児島県	7月11日	56名
九州	大分県	2月14日	20名
九州	沖縄県	7月19日	13名
指定都市	大阪市	12月12日	22名
合計			850名

## 2) 子ども会KYT中級指導者養成講習会

地区	開催県・市	開催期日	参加者数
北海道・東北	仙台市	10月24日・25日	10名
関東甲信越静	群馬県	11月21日・22日	44名
中国・四国	岡山県	12月5日・6日	33名
九州	宮崎県	7月5日	28名
合計			115名

## 3) 各縣市子連での安全普及啓発活動の推進のために、4地区39縣市子連に安全普及啓発活動助成金を各10万円限度に交付した。

県・市・地区	活動名
北海道	平27年度根室地区子ども会育成者研究協議会・安全対策研究協議会
	平成27年度オホーツク管内子ども会育成指導者研究協議会
	平成27年度KYT講習会
	平成27年度上川地区地域子ども会育成研究協議会

	平成27年度胆振地域子ども会育成者研究協議会・安全対策研究協議会
岩手県	平成27年度安全普及啓発活動報告総括表
山形県	KYT初級指導者養成講習会、「防災活動ハンドブック」「スポーツ練習・競技中のケガ防止対策マニュアル」配布
福島県	平成27年度子ども会KYT初級指導者養成講習会
宮城県	防災ハンドブック、ケガ防止対策マニュアル 配布
仙台市	インリーダー研修会・育成者実技研修会
東北北海道地区	平成27年度子ども会KYT中級講習会及び安全普及啓発活動
秋田県	市町村子ども会事務担当者及び県子連常任委員合同会議
茨城県	平成27年度市町村子ども会KYT指導者養成講習会（初級）
	平成27年度企画委員会
	平成27年度大好き子ども会リーダー大会事前活動
栃木県	平成27年度市町子連会長・事務担当者研修会
	平成27年度子ども会育成者・指導者研修会
群馬県	平成27年度子ども会KYT初級指導者養成講習会
関東甲信越静地区	平成27年度子ども会KYT中級指導者養成講習会
東京都	ケガ防止対策マニュアル 配布
	ネット等の性被害（児童ポルノ）根絶等の啓発講習会
神奈川県	子ども会KYT指導者養成講習会（初級）
	ぼうさい探検隊リーダー養成講習会
横浜市	西区「チリリン&親子護身術」
	横浜市子連KYT研修会
	鶴見区「救急救命講習会」
川崎市	安全研修会（KYT講習会・熱中症予防・応急手当）・育成者研修会（防災コンサート）
相模原市	スポーツ関係事故防止のための啓発活動
新潟県	ケータイ・スマホ等に関する共同宣言ならびにメディア講演会
福井県	子ども会KYT指導者養成講習会（初級）
山梨県	子ども会KYT初級指導者養成講習会
長野県	KYT講習会・各種研修会等
岐阜県	平成27年度KYT指導者養成講習会（初級講座）
静岡県	安全教育指導者養成研修会
名古屋市	平成27年度安全講習会
滋賀県	平成27年度滋賀県子ども会連合会安全教育研修大会（子ども会KYT初級指導者養成講習会）
近畿地区	平成27年度 子ども会KYT初級指導者養成講習会
香川県	子ども会K・Y・T初級指導者養成講習会
	第1回J・L会議
	香川県子ども会指導者・育成者研究大会 第2分科会 第2回J・L会議
大阪府	大阪府こども会スポーツ大会（ドッジビー大会）
大阪市	安全普及啓発講習会
兵庫県	防災・減災活動普及のため講習会の実施報告
島根県	メディアとのつきあい方に関する研修

	城北地区子ども会「正しい自動車乗り方教室」
岡山県	KY T登山（倉敷北部4座縦走）
広島県	平成27年度 第26回広島県子ども会リーダー研究集会
広島市	スポーツの練習・競技中のケガ防止対策
愛媛県	スポーツ時の事故防止対策
高知県	KY T危険予知トレーニング初級指導者養成講習会
	KY T危険予知トレーニング初級指導者養成講習会
福岡県	平成27年度子ども会KY T初級指導者養成講習会
	県内各市町村子連等へ安全啓発促進のための書籍購入
北九州市	防災活動ブック・スポーツ練習・競技中のケガ防止マニュアル配布分
福岡市	「防災活動ハンドブック」「スポーツ練習・競技中のケガ防止対策マニュアル」配布分
長崎県	6/4・6/20開催初級KY T講師交通費
	佐世保市子連 少年の船
	平成27年度長崎県子ども会KY T初級指導者養成講習会
九州地区	九子連KY T中級指導者養成講習会
大分県	平成27年度県子連育成研究協議会
鹿児島県	防災、スポーツ競技の練習や大会での事故防止啓発活動

## E 資料の刊行情報提供事業

### 1) ホームページの充実とインターネットの活用

全国子ども会連合会のホームページの充実を図るとともに、県・市子連のホームページ作成を無料で支援。25年度は群馬県、宮城県、茨城県、新潟県、神奈川県、大阪市、神戸市、岡山県、宮崎県に引き続き、26年度は熊本市、東京都、長崎県、三重県、高知県、札幌市、福岡市、奈良県のホームページを作成し、27年度は、埼玉県、鳥取県、福井県、北九州市、長野県、岩手県を作成し、合計23県・市子連のホームページを作成。また、各県・市子連から作成の相談や、作成したホームページの更新依頼を受けている。

### 2) 情報収集・提供

各都道府県・指定都市子連別の、平成26年度の共済加入状況について、10月に行われた全子連設立50周年式典（第49回全国子ども会育成中央会議・研究大会）の開催要項に掲載した。

### 3) 全子連50年史（仮称）の作成事業

#### ① 全子連50周年記念誌部会編集委員（敬称略）

小菅知三（部会長）、速水順一郎（副部会長）、明石要一、宇田川光雄、河村隆  
佐々木あい子、高崎盛雄、高橋登志子

② 担当理事

50周年記念事業実行委員長： 河本功副会長

50周年記念誌作成担当理事： 成田國英常務理事

③ 平成27年度に開催した編集部会

第1回 平成27年12月7日

50周年記念式典の報告、執筆原稿の内容の報告と供覧

第2回 平成27年12月24日

執筆原稿の内容の報告と供覧、今後の作業について

第3回 平成28年2月1日

記事に挿入する写真・図解・イラスト等の選択、今後のスケジュール確認

第4回 平成28年2月2日

記事内への写真の選択、記事内容の精査

④ その他 平成28年5月30日刊行予定

## F 企業団体等連携事業

### 1) 企業・団体との共同による事業の展開

○ウィルスに負けるなキャンペーン

協賛企業：株式会社ヒロモリ

実施場所：(育成研) 北海道、青森県、群馬県、東京都、富山県、大阪府、岡山市、  
鹿児島県、札幌市

(その他) 全国約100箇所

協賛内容：キャンペーンステッカー作成、配布 105,000枚

### 2) 子ども会推奨マーク制度

子どもたちの健全な育成に寄与する商品・サービスとして、全国子ども会連合会が認定  
継続申請 8件・新規申請2件

商品・サービス名	申請者	商品・サービス内容	備考
リポビタンDキッズ	大正製薬株式会社	子どもの成長に必要な、タウリン・カルシウム配合のリポビタンD	継続
mamorino3	KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
みまもり携帯	ソフトバンクモバイル株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
スマートフォンforジュニア2	株式会社NTTドコモ	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
キッズケータイ	株式会社NTTドコモ	子ども用に機能制限をした携	継続

		携帯電話	
ドコッチ	株式会社NTTドコモ	子どもの見守り機能がついたスマートウォッチ	新規
miraie	KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
バイオサーージュ アウトドア ビオ ミスト	カラーズ株式会社	虫が嫌がる天然精油のアロマで子どもの肌をやさしく守る、アウトドアボディミスト	継続
ディズニー・ マウササイズ	株式会社オークローン マーケティング	ディズニーの名曲で楽しみながらダンスエクササイズのできるDVD	新規
マモリーノ ウォッチ	KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした通話もできる防水対応キッズウォッチ	新規



## G 助成金事業

### 1) 公募寄付金の募集

- ① 台風18号大雨被害救援のための緊急寄附金募集  
募金額 1,216,835円
- ② 口永良部島の噴火被害救援のための寄附金募集  
募金額 801,094円

## H 賠償責任保険の契約

### 1) 平成27年度発生事故（報告件数、支払状況）

#### ①対人事故報告件数=6件

- ・ 支払済 3件 82,137円
- ・ 手続き中 1件
- ・ 支払対象外・請求放棄 2件

#### ②対物事故報告件数=207件

- ・ 支払済 138件 2,943,310円
- ・ 手続き中 47件
- ・ 支払対象外・請求放棄 37件

#### ②対人+対物事故報告件数=0件

### 2) 平成26年度以前発生事故（支払状況）

#### ① 対人事故

- ・ 支払済 1件 5,000円

#### ② 対物事故

- ・ 支払済 51件 893,655円

#### ③ 対人+対物事故

- ・ 支払済 1件 27,089円

## I 物販事業

### 1) 売上金額（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

5, 854, 518円

## K 共済事業

### 1. 加入状況

（単位：名）

幼児	子ども	指導者・育成者	計
166, 331	2, 539, 094	1, 085, 318	3, 790, 743

### 2. 共済金支払状況

#### 1) 平成24年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	0	0	
後遺障害	0	0	
疾病・傷害	3	26,100	入院・通院に関する給付
計	3	26,100	

#### 2) 平成25年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	0	0	
後遺障害	0	0	
疾病・傷害	7	197,896	入院・通院に関する給付
計	7	197,896	

#### 3) 平成26年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	0	0	
後遺障害	8	980,027	子ども4名、大人4名
疾病・傷害	977	27,283,465	入院・通院に関する給付
計	985	28,263,492	

#### 4) 平成27年度の事故

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	2	12,000,000	子ども1名、大人1名
後遺障害	7	4,008,293	子ども4名、大人3名

疾病・傷害	3,520	34,064,030	入院・通院に関する給付
計	3,529	50,072,323	

### 5) 合計

支払済み	件数(件)	金額(円)	内訳
死亡	2	12,000,000	子ども1名、大人1名
後遺障害	15	4,988,320	子ども8名、大人7名
疾病・傷害	4,507	61,571,491	入院・通院に関する給付
合計	4,524	78,559,811	

### 3. 立入検査について

平成27年11月30日～12月3日  
指摘事項等詳細は別紙2のとおり

### 4. 業務委託について

59の県・市子ども会連合組織と共済事業について、業務委託契約を締結し、事務委託費として、37,906,280円を支出。

### 5. 準備金等の積立について

#### ①責任準備金について

純掛金 × 50 ÷ 1000 = 4,342,855円

平成27年度共済純掛金の総額 = 86,857,089円 (a + b)

a 23円 × 3,757,743人(加入者数) = 86,428,089円(前期4月～9月加入)

b 13円 × 33,000人(加入者数) = 429,000円(後期10月～3月加入)

#### ②普通支払備金について

26年度分 199,698円

27年度分 7,868,265円

合計 8,067,963円

#### ③IBNR備金の算出方法

平成22年12月27日付文部科学省告示第百七十五号により告示された定義による。

19,088,562円

#### ④準備金について

c 共済事業経常収益計 238,334,657円

d " 経常費用計 198,038,381円(準備金以外)

剰余金は経常外費用（243,672円）を控除した全額を準備金とする  
 $c - d - 243,672 \text{円} = 40,052,604 \text{円}$ を準備金として計上した。

- ① 責任準備金と②準備金の今期増加分については、現預金の残額の関係で積立資産に計上していない。

## 6. 共済会計における財産及び損益の状況

### ① 財産の状況

(単位:円)

項目	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在
流動資産	66,975,656	52,734,890
固定資産	113,124,161	115,012,926
資産合計	180,099,817	167,747,816
負債合計	165,487,387	153,135,386
正味財産	14,612,430	14,612,430
準備金	115,799,255	75,746,651

### ② 損益の状況

(単位:円)

項目	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在
当期収入	238,334,657	250,845,921
過年度修正益	0	0
当期支出額	238,090,985	250,845,921
事業費	238,090,985	250,845,921
うち共済金	78,559,811	74,880,918
当期収支差額	0	0

## 7. 今後の課題

共済契約者の保護、法令に遵守した健全な運営が求められ、リスク管理の重要性を十分に把握し、さらなる内部管理の強化を今後も継続して重点的に進める。

また、財務の健全性を保つため、引き続き被共済者の増加促進運動の展開、募集のための費用の見直しや改善、支払事務体制の改善を継続して進めることが重要である。

業務委託先である県・市子連との連携の強化とリスクの共有により事故軽減のための安全普及啓発運動の展開を推進していくこと、中でもスポーツ事故の軽減が重要である。

共済金の支払い率の格差の是正が重要である。

## <その他>

### 1) 事務担当者会議

#### ①平成27年度事務担当者会議

日 時：平成27年4月17日（金） 13:00～17:00

場 所：ハロー貸会議室 東京駅前ビル9F

参加人数：県・市子連・・・87名、全子連・・・10名

文部科学省：社会教育課PTA等共済室PTA等共済指導係長 吉谷 正 様

社会教育課PTA等共済室専門職 会田 陽一郎 様

社会教育課PTA等共済室 松田 啓子 様

内 容：

1. 共済事業研修 「PTA等共済法に基づく共済事業の適正な運営に向けて」

講師

文部科学省生涯学習政策局社会教育課PTA等共済室PTA等共済指導係長 吉谷 正 様

2. 共済運営について

(1) 27年度からの変更について

(2) 24年度～26年度の共済支払等状況

3. 平成27年度全子連事業について

4. 公益社団法人について

5. 会計、経理について

6. 諸連絡

7. 質疑応答等

## II 収益事業

### 1 全子連ビル管理・賃貸事業

#### (1) 賃貸事業

① NPO法人東京都子ども会連合会賃貸収入	1, 192, 320円/年
② 貸し会議室賃貸収入	100, 980円

#### (2) ビル管理事業

① エレベーター保守点検費用	491, 551円/年
② 警備費用	149, 040円/年

#### (3) ビルの建替工事資金と大規模修繕工事費用の積立

① 建替準備資産	当年度繰入	1, 646, 260円
	当年度末	18, 108, 860円
② 大規模修繕準備資産	当年度繰入	2, 865, 000円
	当年度末	11, 460, 000円

### Ⅲ 法人の運営について

#### 1. 組織、事務局執行体制の整備と強化

- 1) 文科省の研修に参加し、共済業務知識の習得を図った。
- 2) ホームページの充実と、システムの活用により県・市子連との情報の共有化を推進した。

#### 2. 傷害保険等の契約

- 1) 傷害（NPO）保険 ————— 各県（政令市）子連事務局の有給職員を対象
  - ・加入者数 155 人
  - ・支払保険金 1 件 (64,000 円)
- 2) ボランティア活動保険（たんぽぽ） ————— 地域子ども会の育成者・指導者等、無償ボランティアを対象
  - ・加入者数 1,910 人
  - ・支払保険金 8 件 (512,050 円)

#### 3. 総会について

期日	出欠	内容	審議結果
定時総会 平成27年 5月28日	出席者 57名	1. 平成26年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日）決算報告書承認の件 {貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、附則明細書及び財産目録承認の件} 2. 定款改正の件	承認
	書面決議 8名		承認
	委任状 4名	報告事項	
	遅刻者 1名	1. 平成26年度事業報告の件 2. 監事監査報告の件 3. 新規会員報告の件 4. 法人創立50周年記念式典の件	
	欠席者 1名	5. 共済金支払状況（平成24年度～25年度）報告の件	

#### 4. 理事会について

期 日	出 欠	内 容	審議結果
第1回 平成27年 5月13日	出席者 15名  欠席者 0名  監事 2名	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成26年度事業報告及び計算書類等の承認</li> <li>2. 定款の改正の承認</li> <li>3. 創立50周年記念式典について</li> <li>4. 平成27年度定時総会の招集の決定</li> <li>5. 新規会員の承認</li> <li>6. コンプライアンス規程の改正の承認</li> <li>7. 総会運営規則の改正の承認</li> <li>8. 旅費規程の改正の承認</li> <li>9. 嘱託職員雇用等管理規程の改正の承認</li> <li>10. 委員会規程の廃止の承認</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 監事監査報告について</li> <li>2. 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告</li> </ol>	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
第2回 平成27年 5月28日	出席者 13名  欠席者 2名  監事 2名	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成26年度決算書類等の承認</li> <li>2. 定款改正の承認</li> <li>3. 新規会員の承認</li> <li>4. コンプライアンス委員選任の承認</li> <li>5. 人事に関する承認</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成27年度定時総会の運営について</li> </ol>	承認 承認 承認 承認 承認
第3回 平成27年 9月16日 9月17日	出席者 13名  欠席者 1名  監事 2名	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 寄附金の募集について <ol style="list-style-type: none"> <li>① 台風18号大雨被害緊急募金</li> <li>② 口永良部島の噴火被害募金</li> </ol> </li> <li>2. 感謝状(特別功労賞)授与について</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 設立50周年記念式典について</li> <li>2. 27年度シニア・リーダー研修会について</li> <li>3. 安全共済会の加入・支払状況について</li> <li>4. 防災推進国民会議について</li> <li>5. (公社)日本教育会 日本教育会9月号</li> <li>6. 防犯システムについて</li> <li>7. 職員人事について</li> </ol>	承認 承認 承認



		相互討議	
第4回 平成27年 12月17日	出席者 13名  欠席者 1名  監事 1名  監事 欠席者 1名	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新規会員の承認</li> <li>2. 平成28年度事業計画(案)の承認</li> <li>3. 平成28年度予算(案)の承認</li> <li>4. 子ども会KYT上級指導者認定委員の承認</li> <li>5. 子ども会KYT上級指導者認定の承認</li> <li>6. 子ども会KYT上級並びに中級指導者認定要件の緩和の承認</li> <li>7. 全国子ども会育成中央会議・研究大会の開催担当地区の承認</li> <li>8. 安全共済会の共済掛金の変更の承認</li> </ol> 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宮城県子連の横領事件に関して</li> <li>2. 文科省の検査について</li> <li>3. 内部監査について</li> </ol>	承認 承認

## 5. 委員会の開催について

○コンプライアンス委員会

委員長：磯田 謙一

委員（代表理事）：丸山 康昭

委員（執行理事）：河本 功、野瀬 武敬、成田 國英

委員（正会員）：安部 侃、池田 龍男、齋藤 武、正木 明

監事：後藤 守吉、中山 ひろみ、

期 日	出席委員	検討内容
第1回 平成27年 9月16日	出席者 8名  欠席者 1名  監事 1名  監事 欠席者 1名	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共済法第18条による立入り検査結果について               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 平成26年度検査指摘事項について</li> <li>② 平成27年度検査日程</li> </ol> </li> <li>2. 業務委託先管理について               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 業務委託先の現場指導（立入調査）について</li> <li>② セルフチェックリストの定期実施について</li> </ol> </li> <li>3. 研修 マイナンバー制度について</li> </ol>

## 6. 内部監査の実施

日 時： 平成27年11月17日(火)

内部監査委員： 後藤 守吉

監 事： 中山 ひろみ

監 査 内 容：

- (1) 事務所全般の整理整頓について
- (2) 事務所の鍵類適正管理状況について
- (3) 事務所の書類適正保管状況について
- (4) 金庫の適正管理状況について
- (5) 会計諸帳票管理(現金・預金通帳・有価証券等)状況について
- (6) 公益法人会計基準に基づく区分会計処理について
- (7) 経理処理状況について

「シニア、ジュニア・リーダーが進める子どもの手による子ども会！」

「保護者の理解と参加で子ども会活動の活性化！」

「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！」

